

エイベックス、
Concur Expense 監査サービス「Intelligent Audit」を採用
～経費精算の監査プロセス高度化により、
承認業務にかかるコストの 37%削減を見込む～

出張・経費管理クラウドのリーダーである株式会社コンカー（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：橋本 祥生、以下 コンカー）は、エイベックス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：黒岩 克巳、以下 エイベックス）が経費管理クラウド Concur Expense の監査サービス「Intelligent Audit」を採用したことを発表いたします。

採用の背景

エイベックスは、経費精算業務における監査品質の標準化、承認者の業務負荷軽減、ガバナンスの強化を重要な課題と位置付け、経費申請から監査、承認に至る業務プロセスの見直しに取り組んでいます。経費申請の承認にあたっては、申請された日付、金額、経費タイプ、支払先などの情報と領収書画像の一致や、社内規程への適合状況など、複数の項目を確認する必要があります。こうした確認作業が、承認者が本来注力すべき業務上の必要性の判断やマネジメント業務を圧迫する可能性があることから、従来は確認業務の一部を外部に委託していました。今回、経費精算システムと監査業務をより一体的に運用し、監査の専門性と品質をさらに高めるべく、Intelligent Audit を採用されました。

Intelligent Audit とは

Intelligent Audit は、経費精算の申請に対する目視チェックを、コンカーの監査チームが代行するサービスです。各社の経費規程に基づき、コンプライアンス、IT リテラシー、税務などの観点から経費申請の不備を確認します。専門のサービス担当者が、申請時の入力データと領収書画像を目視で検査することで、承認者による詳細確認の負荷を軽減します。



導入により期待される効果

Concur Expense による経費規程の自動チェックと Intelligent Audit による目視監査を組み合わせることで、承認者の負担を軽減しながら、経費申請の不備やミス、不正の防止を強化します。さらに、第三者による監査を通じて社員の経費利用に対する意識向上を促し、コンプライアンスの強化にもつなげます。

エイベックスでは、2026 年秋から国内グループ*の従業員約 1,300 名を対象に利用を開始し、経費精算の承認業務にかかるコストを導入前比で 37%削減することを見込んでいます。

*一部対象外の企業を除く

コンカーは今後も、サービスの拡充を通じて、日本企業の競争力強化、業務改革を支援してまいります。

■株式会社コンカーについて

世界最大の出張・経費管理クラウド SAP Concur の日本法人で、2010 年 10 月に設立されました。

『Concur Expense（経費精算・経費管理）』・『Concur Travel（出張管理）』・『Concur Invoice（請求書管理）』を中心に企業の間接費管理の高度化と従業員の働き方改革を支援するクラウドサービス群を提供しています。

コンカーの詳細については www.concur.co.jp をご覧ください。

■SAP Concur について

SAP Concur は、出張・経費・請求書管理の統合ソリューション分野において世界トップのブランドであり、業界最大規模のグローバルパートナーエコシステムに支えられています。

製品全体に組み込まれた高度な AI は、ユーザーのニーズを先読みし、業務負荷を軽減、経費データをビジネスの知見へと変え、従業員、管理者、予算責任者が関わるあらゆるやり取りや意思決定を支援します。さらに AI エージェントは、ユーザーの目的や状況を理解し、各社の規程やコンプライアンスルールに沿って、タスクを自律的に処理します。

SAP Concur は、高い安全性と拡張性を備え、あらゆる規模の組織に対応し、出張・経費管理が自律的に進む世界の実現を目指しています。詳しくは concur.co.jp をご覧ください。

SAP、SAP ロゴ、記載されているすべての SAP 製品およびサービス名はドイツにある SAP SE やその他世界各国における登録商標または商標です。またその他記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する各社の登録商標または商標です。

© 2026 SAP SE または SAP 関連会社。無断複写・転載を禁じます。この資料に関する使用条件、免責条項、開示、または制限については、www.sap.com/legal-notice の法的通知を参照してください。